

空木岳

2012年4月21日(土)~22日(日)

L:柴田、坂野、大山(記)

夜、登山口を目指して林道を行こうとするとゲートが閉まっていた。
ここはどの辺り? と不安な気持ちを抱えながらテントを張って仮眠する。



出発前にカーナビの地図で現在地確認して林道ゲートに向かうと、詳しく解説されていた。



池山を巻いた辺りから雪が出てきて踏み跡が不明瞭になるが、再びトレースに乗って尾根に上がる。尾根上の雪は踏み抜きがあってちょっと疲れる。休憩していると学生たちが追い付いてきた。大地獄は学生たちが先行しトレースを付けたが、坂野氏がぼそりと「おいしいところを学生たちに取られてしまった…」と呟いていた。

小地獄は、左側のトラバースが通行止めになっていて、尾根の右側にハシゴが付けられていた。通過して振り返ると、左側は崩落しているようだった。その先のトラバースが悪い感じだったので尾根に上がってルンゼ状を直登した。数年前に来たときはロープを出したが今回はなし。しかし抜けの部分の雪が前回と違ってスカスカで足場が取れず、端の木を使って這い上がった坂野氏が垂らしてくれた補助ロープを頼って何とか抜ける。



そこからトラバースして前回のテント場に出る。夏道とはここで合流。学生たちは夏道を行ったらしい。もうひと登りして樹林の中にテントを張る。テントを張り終わった頃、学生たちがやってきて先へ進んで行った。



2日目。

出発して間もなく展望が開ける。学生たちのテントが張ってあった。既に出発したようだ。樹林帯を抜けると空木岳が見えてきた。雪面が固くなってきて傾斜が出ると輪かんではちょっと歩きにくい。



谷の中に避難小屋の屋根だけが見えた。駒石の辺りで下りてくる学生たちとすれ違う。



駒峰ヒュッテで風を避けながら輪かんを外しアイゼンに付け替える。そこからひと登りで山頂。天気が下降気味ではあるが展望はよかった。



展望を楽しみながら山頂を後にする。



下って行くと次第に風が強くなってきて、真っ直ぐ歩けないくらいになる。
写真は耐風姿勢を取る柴田リーダーと何故か普通に下って行く坂野氏。



テント場に戻り撤収。天候は悪化傾向だし、懸垂下降でロープを出して時間をかけるより学生たちのトレースを使って下りることにしたが、結構回りこんでいるうえに意外に悪く、登った所を懸垂したほうが早かったかも。



下りは、池山避難小屋に下る辺りでルートロスしたが回復。登山口の駐車場に戻る頃には雨は本降りになり、雨の中、さらにゲートまで歩いた。

(タイム)

1日目 5:37 駐車場 ~6:47 登山口駐車場 ~ 10:01 1920ピーク~ 13:45テント場

2日目 4:55テント場~6:40駒石~7:15駒峰ヒュッテ~7:50空木岳~9:39テント場~
12:54池山小屋~13:41登山口~14:42駐車場